

しまねこ [旧学研製] の修理法 (歩けない)

2018.07.01/2022.07.01 改訂

トミー・マック

1. 外 観

正式な名前が分からない「しまねこ」で、製造年も不明の旧学研のおもちゃです。

2. 特 徴

鳴きながら伏せを3回行い、ゆっくりトコトコと前進します、尻尾は連続して振っています。鳴き声は、ネコと言うよりワンちゃんの鳴き声です。



3. 故 障

電池の液漏れと長期間保管の影響で、電池金具が錆、緑青になっています。電池金具以外にも錆の影響が出ているかもしれません。

4. 修 理

まずは、電池金具の錆の除去から始めます。

(1) 電池金具の錆の除去

尻尾側の電池金具の錆をリュータで研磨します。

頭部側の電池金具の錆は、+極の錆が緑青になっており、表面をリュータで研磨しました。

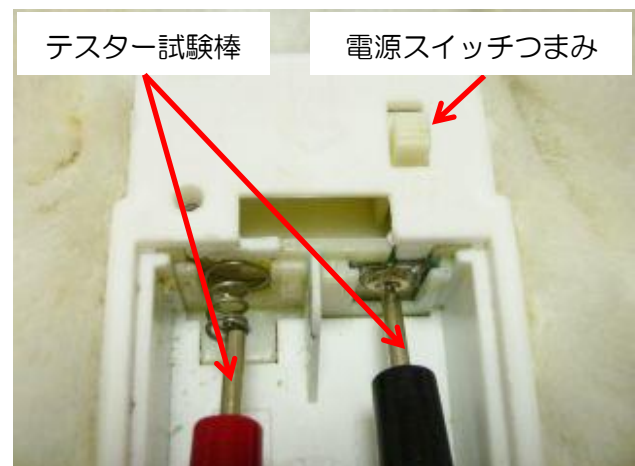


しかし電池金具は、一部が電源スイッチ接点になっており、錆が侵食している可能性があります。

電源スイッチをON/OFFし、電池金具間の導通をテスターで確認します。

幸い導通に問題なく、電池金具の錆が影響していないようです。

早速電池を入れ電源スイッチをONにすると、モーターが回転し始めましたが、脚が3本しか動きません、右前脚1本が動きません。



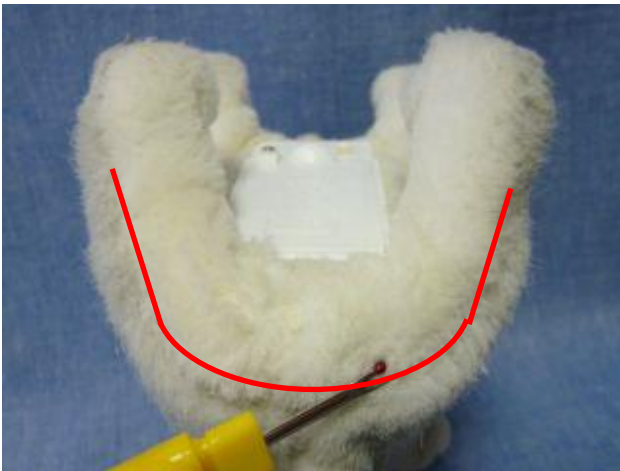
しまねこ [旧学研製] の修理法 (歩けない)

原因を調べます。



(2) ぬいぐるみの脱がし

このネコちゃんのぬいぐるみの生地は、厚みがあり伸び難いので、尻の生地をつなぎ目の一部の糸をリッパーで切り裂きます。後両脚の側面の半分の所まで切り裂きます。



電池収納部周囲のぬいぐるみの生地を、小さなマイナスドライバーの先で引っ張り出します。後脚のぬいぐるみを脱がせます。



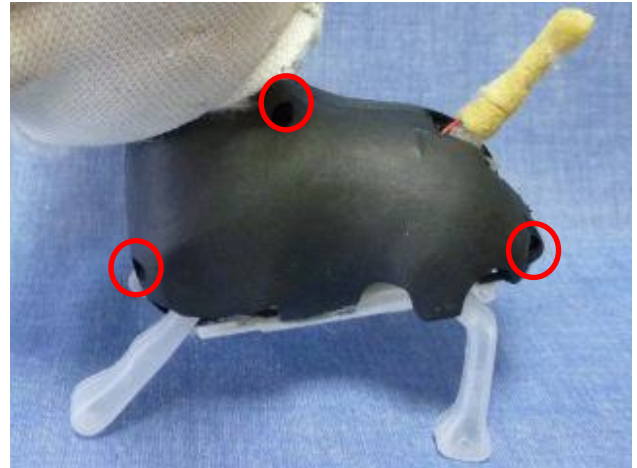
そして、前脚と尻尾のぬいぐるみも脱がし、頭までまくり上げます。



しまねこ [旧学研製] の修理法 (歩けない)

(3) 機構部ケースの外し

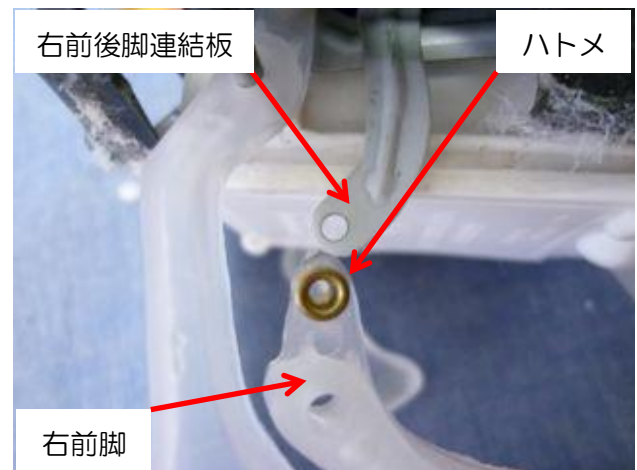
○印のネジ (タッピング2. 6×6) 3本を外します。



(4) 右前脚の点検



機構部ケースをそっと開け、右前脚を見ます。



右前脚の根元と、右前後脚連結板の先端のハトメが外れています。

(5) 右前脚の修理

右前脚の根元と、右前後脚連結板の先端をハトメで位置合わせをします。
ハトメは柔らかいので手か木板で押さえ、#1 プラスドライバーの先でカシメます。



しまねこ [旧学研製] の修理法 (歩けない)

右前脚を右前脚軸に挿入します。



これで**修理完了**です。

(6) 元へ戻す

(a) 機構部ケースの留め

機構部左右ケースを合わせ、ネジ (タッピング2, 6×6) 3本で留めます。

(b) ぬいぐるみを着せる

ぬいぐるみを前脚、尻尾そして後脚の順に着せます。

(c) ぬいぐるみを縫製

切り開いた両後脚と尻部を縫製します。

(d) ぬいぐるみの接着

電池収納部を一辺ずつ、グルーステック (ホットメルト接着材) をグルーガンで溶かして垂らし、ぬいぐるみの生地端を小さなマイナスドライバーの先で押し込み、接着します。

完 成

終わり